

第一三共の価値創造プロセス

第一三共は、高品質な医薬品の安定供給、アンメットメディカルニーズ^{*1}への対応、医薬品アクセス^{*2}の向上のみならず、ESGに関連する取り組み等、社会からさまざまな要請を受けています。財務資本、知的資本、人的資本などを利用し、長期的な企業価値の向上とともに、持続可能な社会の実現に向け、中長期的な取り組み課題に取り組んでいます。

そして現在、「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」を2025年ビジョンに掲げ、第4期中期経営計画の達成を目指しています。第一三共の強みであるサイエンス&テクノロジー、グローバル組織&人材、日本

でのプレゼンスを活かし、革新的医薬品を継続的に創出し、多様な医療ニーズに応えることが第一三共の価値創造の根幹です。同時に、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティ(持続可能性)に関する課題に対して事業と一体に取り組んでおり、これらの活動によっても、価値を社会に提供しています。

この価値創造プロセスを循環させ、持続的な企業価値向上により、患者さんとそのご家族、医療関係者、株主・投資家、取引先、社員、地域社会などさまざまなステークホルダーや社会に対し、第一三共が生み出した価値をバランスよく提供しています。

*1 未だ有効な治療方法や薬剤がない医療へのニーズ
*2 患者さんに必要とする医薬品が十分かつ安定的に届くこと

